

おたよりコーナー

近況、出来事
など...



●連休初め息子一家が来るのに 風邪気味だったので髪染めをさぼっていたら 白い髪縁がくっきりとしています。主人はもともとばーさんなんだからこれで写真に収まると良いとのたまう。鏡の前でお化粧する私を孫はじっと見ている。自分ではもっと若く見えてたと思っていたのによく見るとシワシミがいっぱい。そこで西福岡さんが書かれた「口紅のちから」の様に新色の赤糸で口元を引き締めました。60代に見えるかしら♪いつまでも若く見たい73才の誕生日でした。(中央・K様)

●毎日が連休の身、混雑する10連休の直前に故郷の500m余の山に登った。ハイティーンの頃以来約60年ぶりで道も忘れており、ペース配分を掴めず喘ぎ喘ぎ尾根道にたどり着く。同年配かと思ひ言葉を交わした方は「数年前に岩場で骨折し、背中に2本の金属を入れる手術をした。そのリハビリの意味で年に100回程この山に登る。今年88歳になった。」とのこと。大勢の支援者を引き連れて86歳でも高山に挑む三浦雄一郎さんの体力と財力は凄過ぎても目標にできないが、この人は独力で着々と登り続けている。10年後の私も(もし生きていれば)こうありたいと思わされた。(西福岡・S様)

●「おたよりコーナー」では、自分の住んでる街の身近な人たちの感想、経験、意見などが寄せられてとても面白い。ミニコミ紙ならではの面白味か。たくさんの読者がいると思う。こここのところ、「チャレンジパズル」の投稿が続いている。私も挑戦者のひとり。愛好者がいっぱいいるんだな。あと驚いた。「おたより」の会話がはずんでるみたい。交流が生まれ、キャッチボールされて、「おはよう宗像」の新時代が始まったみたい。

(宮司・H様)

●先日、久しぶりに宗像大社へ行って参りました。いつもは本殿を拝して帰るのですが今回は世界遺産になったのを気に高宮祭場まで行ってみました。漂とした空気が漂う森の中を歩いて行くと静寂さの中にも何か厳かな気持ちになり1500年前の空気を感じる事が出来

ました。また第二宮、第三宮を拝し、神宝館まで足をのびし本殿まで来ると一組の結婚式がやってました。1500年の時を越え、未来へ続く若者達に幸多いからん事を願いながら帰って来ました。(花見の里・A様)

●新聞もテレビも改元関連の話題であふれていました。消化不良をおこすのではと心配になるくらいありました。ひとつの話題にすべてのものが傾くのは少し恐ろしい気さえました。

(光陽台南・K様)

●店頭にはりっぱな新玉ねぎが出まわっている。しかし我が家の畑は、玉のふとりが遅く小さい。



天候か肥料か苗か土か農事メモを開いても原因がつかめない。今からあじさいの季節。小さなつぼみがたくさんついてはいるがどの品種も小さいことに気づく。先日たまねぎの話をお農家の方に話すと「たまねぎは水が好きですなあ」と言われた。そうだ、水不足が原因だ。花も野菜も水をほしがっていたんだ。それから私の朝夕の水やりを日課に加えた。いつもは大変なので、畑を見まわるともりでぼつぼつと見守る時間が増えて草引き、病害虫にも気配りできる遠い昔のことになったが、これは子育てにも通じていたのだ。生きとし生けるものには気配り、目配りが成長の鍵なのだとしみじみ感じたのでした。お昼は紫たまねぎの初物でドレッシングです。(福岡県・O様)

●経験したことがない10連休も終り、日常に戻りました。私達老夫婦は連休続きですが、子ども達、孫達のために何か合わせてあげようと思ひもしていたのに孫全員部活で忙しく、一回だけ我が家で食事会をただけでした。新年号令和になった日は朝からテレビにくぎづけ。でも憲法記念日は、朝日新聞の憲法学者樋口陽一さん(東大名誉教授)のインタビュー記事じっくり読んで安倍政権下の「日本国憲法の現在地」を真剣に考えさせられました。その記事の最後に「ぼけっとしていいの」と85才の彼が心配しているのを深く心に刻んだ連休でした。

(星ヶ丘・S様)

●「おかげさまです、先生」

長年通っている歯の先生は患者の名前をよく呼ばれる。「おはようございます、Sさん。」「連休はどこかに行かれましたか、Sさん。」「今日はよく晴れていますね、Sさん。」「という具合である。先生から歯の手入れ方法を習い、それを守って定期検診に行くと「よく磨かれていますね、Sさん。」「と褒められて嬉しくなる。名前を呼ばれると不思議に良い気持ちになるのは誰でも同じだろう。子供達が幼かった頃、ちゃんと呼んだらうか。遙か昔の手遅れの育児を反省するばかりである。朝晩の歯磨きを忘れずに行うことで、治療した歯は何本もあるけれど、今のところ抜いた歯は無い。歯垢を取ってもらうのに三十分弱、「次の検診は三ヶ月後ですね、Sさん」と先生が明るくおっしゃる。予約を済ませた帰り道はいつも御機嫌になる私である。

(西福岡・S様)

●晴天が続いた連休中、今まで避けていた「どんたく」に博多に出かけた。流石にいつもにも増して人が多くその熱気で街中が祭りに盛り上っていた。この日のための着物姿の娘と2人で散策の後、評判の名店に。昼間から大吟醸に酔い、生まれて初めての珍味フォアグラやキャビアに舌鼓を打ち、生涯一のぜいたくな一日となった・・・。「どんたく」に行きたがっていた亡父を何度も思い出した。(中央・O様)



おたより大募集♪

皆さまの近況や出来事など
お聞かせください♪
短い文章でもかまいません。
文章は400字以内に
まとめてお願いいたします。
ご応募お待ちしております。

※応募の締切 6月15日まで

